



野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド
Aコース（為替ヘッジあり） / Bコース（為替ヘッジなし）

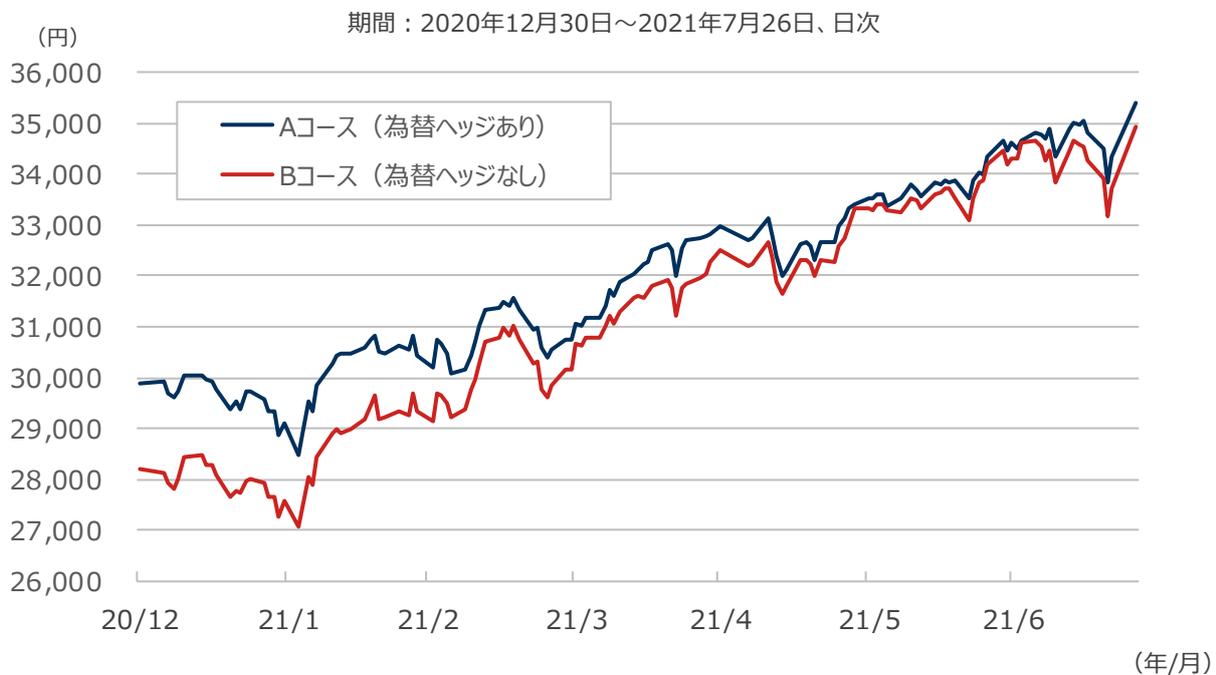
2021年年初来の振り返り

当ファンドの年初来のパフォーマンス

2021年7月26日現在、当ファンドの基準価額（分配金再投資）の年初来の騰落率は、Aコース（為替ヘッジあり）が+18.4%、Bコース（為替ヘッジなし）が+23.9%となりました。

ファンドの主要投資対象である世界のプレミアム・ブランド企業の株式は、新型コロナウイルスのワクチン開発・接種の進展の動きを受け、年初より上昇傾向で推移しました。特に、欧州の高級ブランド企業を中心に、2021年1-3月期決算で業績見通しの改善が示されたことなどが支援材料となり、4月以降は上昇基調を強めました。その後、株式市場全体のバリュエーション（投資価値評価）の高さなどが懸念される中、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトンやロレアルなどの欧州高級ブランド株は上値の重い展開となりましたが、代わりに業績の回復期待が強まったナイキ、ルルレモン・アスレティカ、アメリカン・エクスプレスといった銘柄がファンドの基準価額を下支えました。

基準価額（分配金再投資）の推移



基準価額（分配金再投資）については5ページをご参照ください。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

MSCI世界株価指数、MSCI世界情報技術セクター株価指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当ファンドの組入上位10銘柄の動向

組入上位銘柄の推移と株価動向

2020年末時点の上位10銘柄の第9位にテスラが入っており、同社の株価は2020年年間で、7倍近くまで上昇した後、2021年1月月間でも約25%上昇するなど、基準価額を下支えました。その後、当ファンドでは同社株の一部を売却したことで2月末時点で組入上位10銘柄から外れました。

年明け以降の動きを見ると、6月半ばにかけエルメス、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン、ロレアルといった欧州の高級ブランド株の上昇が目立ちました。新型コロナウイルス向けワクチンの開発と、接種の進展といった状況下で、中国での販売回復の動きなどがけん引する形となり、2021年1-3月期決算の発表が行なわれた3月末から6月半ばにかけ、これらの企業の株価は上昇基調を強めました。

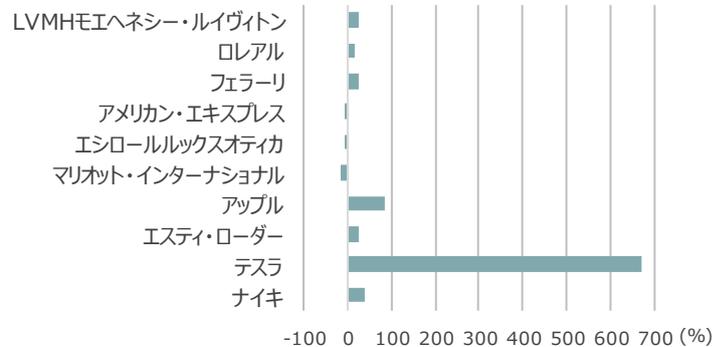
6月半ばから7月下旬までの株価動向

6月半ばに開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）を受け早期利上げ観測が高まったことなどから、株式市場は一時下落しました。この間、欧州の高級ブランド株もバリュエーション面で割高との見方が強まり、上値の重い展開となりましたが、一方で業績の成長期待が高いナイキ、ルルレモン・アスレティカ、アップルといった保有上位の銘柄がパフォーマンスを下支えました。

特に、ヨガ向けトレーニング・ウェア販売を行なうルルレモン・アスレティカについては、実店舗での来客数増加やオンライン販売の好調を背景に、通期の売上げ、EPS（1株当たり利益）見通しともに会社側が上方修正を行なったことが好感されました。

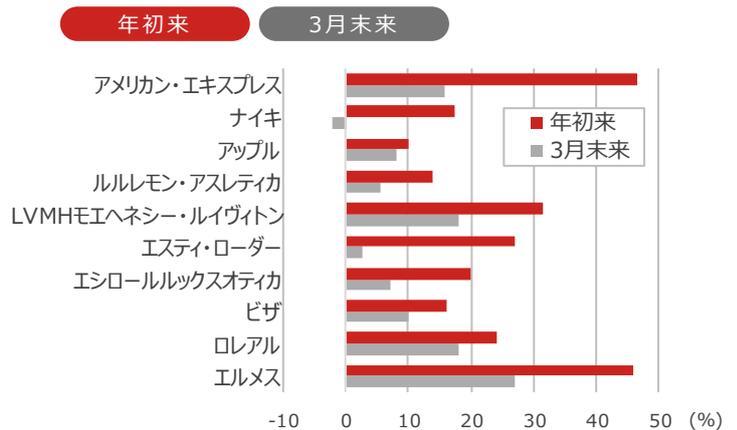
上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2020年の年間株価騰落率



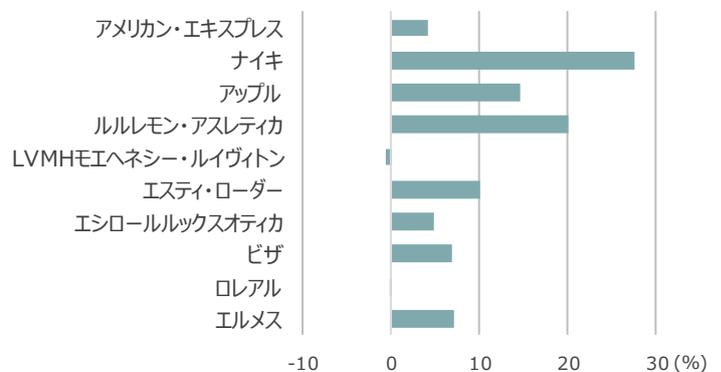
上記は2020年12月末時点の組入上位10銘柄。
ファンドの市場反映タイミングにあわせて算出しています。現地通貨ベース。
期間：2019年12月末～2020年12月末
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

組入上位10銘柄の株価騰落率



期間：(年初来) 2020年12月末～2021年7月26日
(3月末) 2021年3月末～2021年6月16日

6月16日



期間：2021年6月16日～2021年7月26日

上記は2021年6月末時点の組入上位10銘柄。
ファンドの市場反映タイミングにあわせて算出しています。現地通貨ベース。
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

当ファンドの主要投資銘柄の動向

アメリカン・エキスプレス：クレジット・カード

1月下旬に発表された2020年10-12月期決算で、2021年通年の総収入が9-10%増加するとの見通しを示したことで、業績回復期待が高まりました。3月に入ると、ワクチン接種の進展に伴う、海外旅行需要の持ち直し期待や、抑制されてきた消費行動の反動といった「リベンジ消費」期待も株価上昇を後押ししました。2021年1-3月期決算では、プラチナカードの特典再拡大といった施策が奏功し、カード手数料収入の増加が見られました。

LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン： 香水、化粧品、宝飾品など

年明けにティファニー社の買収を完了させ、宝飾品事業の強化が図られました。1月下旬に発表された2020年10-12月期の決算では、「ルイ・ヴィトン」ブランドのバッグを中心にファッション・皮革製品部門の売上げが好調だったほか、中国国内の売上げの伸びが顕著となりました。2021年1-3月期決算では、売上高が新型コロナウイルスの感染拡大前の水準を上回りました。

ナイキ：スポーツ・アパレル

新疆綿問題に起因する中国需要の減速などが懸念される中、3月下旬に発表された2020年12月-2021年2月期決算では、店舗売上が低調だったことや出荷遅延などが減収要因となり失望視されました。しかし、6月下旬に発表された3-5月期決算では、コロナ禍の影響を受けていた反動から大幅増収・黒字回復を果たしました。また、北米での回復を背景に、会社側が2022年5月通期売上高が史上初の500億米ドル超えとなるとの見通しを示したことが好感されました。

アメリカン・エキスプレスの株価の推移



LVMHモエヘネシー・ルイヴィトンの株価の推移



ナイキの株価の推移



期間：2020年12月29日～2021年7月23日、日次
(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は、ファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

運用チームによる今後の見通し

消費の中身の変化に期待

運用チームでは、景気回復期待の高まりの中、新型コロナウイルス向けのワクチン接種の進展により、これまで抑えられてきた消費意欲の反動や、先進国を中心に貯蓄率が高まっている状況などから、プレミアム・ブランドなどの高額商品の消費拡大が引き続き期待できると考えています。今後はこれまでの「モノ消費」から、旅行・レジャーなどの「コト消費」への広がり期待できると考えます。特に、今年夏のバカンス・シーズンでは回復の兆しが出てくることと予想され、プレミアム・ブランド企業の売上・利益の回復は今年後半から一段の加速が見られるものと期待しています。

高級ブランド株のバリュエーションの高さについて

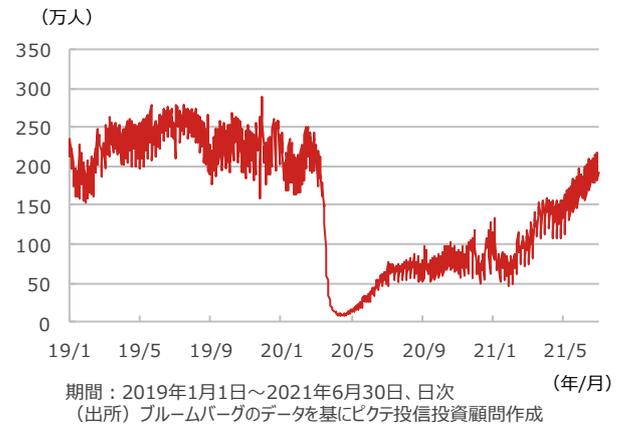
①相対的に高い利益成長が反映されている

プレミアム・ブランド企業は、「リベンジ消費」拡大や、旅行需要の復活などの景気回復の恩恵を受けると考えられるため、短期的にはこれまで以上に高い利益成長が見込まれ、足元のバリュエーション水準は、こうした高い成長性を反映したものであると考えられます。

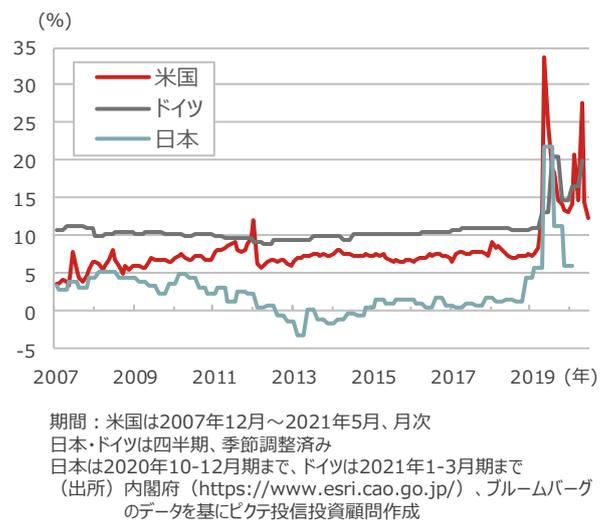
②企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）の「質」の高さに対する「プレミアム」

プレミアム・ブランド企業が提供する商品やサービスは、多くの人々を魅了し続け、強力なブランド力を築いており、高収益性を支える重要な要素です。また、強固な財務基盤を有している企業も多く、こうした企業のファンダメンタルズの優位性や中長期的な成長期待が、株式市場において高く評価され、株式は「プレミアム」が上乘せされた価格（株価）で取引される傾向があると考えます。

米国空港利用者数の推移



日本、米国、ドイツの貯蓄率の推移



予想PER（株価収益率）の推移



上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド」

ファンドの運用状況

期間：2006年8月28日（設定日）～2021年7月28日、日次

Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額の推移



Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額の推移



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定日より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界のプレミアム・ブランド企業の株式を実質的な主要投資対象^{*}とします。

^{*}「実質的な主要投資対象」とは、「野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

プレミアム・ブランド企業とは

プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス(プレミアム・ブランド商品・サービス)を提供している企業を指します。

プレミアム・ブランドは、選ばれた企業のみが有するブランド力であり、一般的にプレミアム・ブランド商品・サービスは高価格でも消費者に受け入れられています。

- ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行いません。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。ただし、市場動向等により弾力的に変更を行なう場合があります。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは「野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ピクテ・アセット・マネジメント・リミテッド、ピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイおよびピクテ投信投資顧問株式会社に、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年2月および8月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

^{*} 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

「野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド」

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2026年8月24日まで(2006年8月28日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則2月および8月の22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ロンドン証券取引所・ジュネーブの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2021年8月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.87%(税抜年1.70%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

《分配金に関する留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。